



公立入試まで残り2週間となりました・・・

全体が落ち着かないのが心配です！！

公立高校の学力検査（3月11日、12日）まで残り2週間となりました。各中学では最後の追い込みへ向けて力を尽くしているところかと思います。津幡南中の様子は…というと、全体的に落ち着かないことが気にかかります。「入試が近づき何となく落ち着かない…」という気持ちは理解できますが、だからこそ授業では落ち着いて実戦プリントなどに取り組む姿勢が求められる時期です。ところが、休み時間には大声で騒ぎながら走り回っている生徒が目につきます。じっくりと学習に取り組んでいるとは到底思えない姿です。本当のライバルは津幡南中にはいないのです。これを忘れてはいけません。「みんなが騒いでいるから大丈夫だろう…」は大きな勘違いです。切磋琢磨という言葉がありますが、互いに厳しく高めあってこそ本番で津幡南中生徒の力が發揮されるはずです。休み時間は、落ち着いて過ごすように心がけましょう。そして、授業中のプリントや問題集に集中して取り組む姿勢が生まれてくれれば、いよいよ本番への準備が整ったといえると思います。受検は、団体戦です。



倍率って何だろう？

何人合格して何人不合格になるかの数値です！

昨日の午後3時30分に石川県教育委員会から出願倍率が公表されました。この数値は、「定員何人のところに、何人出願しているのか？」を示すものです。ちなみに、本年度のデータを見てみると、出願倍率が高い高校は次のようになっていました。

この倍率は、どういうことかというと…金沢桜丘高校の場合、定員（合格する人数）が、360人であるところに、その1.49倍である、537人が出願したということです。ということは、

537人の中から、360人が合格し、177人が不合格になるという数字です。非常に厳しいと思いませんか？

先日の学年だよりも「公立入試は厳しいです！」と書きました。実際の数値を見ると、分かりやすいのではないかと思います。うかうかしてはいられません。あと14日、できる限りの努力をして、ベストの力を発揮する準備をしていきましょう。

順位	高校名	学科	倍率
1	金沢桜丘	普通	1.49
1	金沢錦丘	普通	1.49
3	市立工業	土木	1.42
4	県立工業	材料化学	1.36
4	羽咋工業	電気	1.36
6	金沢西	普通	1.34
7	金沢泉丘	普通併願	1.25
8	金沢二水	普通	1.22
9	金沢伏見	普通	1.19

※これは現時点の倍率であって、実際の倍率は、志願変更後の3月4日（火）に分かります。さらに、倍率が高くて低くても、気持ちで負けてはいけません。「絶対に合格するぞ」という強い意志でがむしゃらに頑張っている人が本番には強いものです。自分たちの周りを見てみましょう。そういう人はいるでしょうか？「まずは自分から…」という気持ちで過ごすこと。高校へ進学するのはあなたのですから！！



卒業が見えてきました。

先週から卒業式練習が始まりました！！

先週金曜日から卒業式練習が始まりました。身だしなみを含め、良い卒業式にするためにみんなで頑張りましょう。また、体育館は非常に寒いので、下着を1枚多く着るなど暖かな服装を心がけましょう。

出願が締め切られ、出願倍率が公表されました！

再度「志願変更」についてお知らせします！！

昨日午後3時に出願が締め切られ、今日の朝刊で「出願倍率」が発表されました。そして、その後、**1回だけ志願変更を行う**ことができます。変更できるのは

- ① 志望校と学科、コース
- ② 志望校は変更せず、学科、コースの変更

の2通りです。**第2志望の学科やコースのみを取り消したり、変更したりすることは認められません。**さらに詳しいことは、担任の先生と確認して下さい。手続きの手順は

- (1) 津幡南中では、**3月3日（月）**に、一括して本校会議室で受けつけ、変更手続きを行います。
- (2) 各高校への手続きは、保護者の方に行っていただきます。
- (3) 具体的な手続き（必要な物）については、該当の生徒のみ連絡します。



希望する生徒は、必ず28日（金）までに担任の先生と確認して下さい

昨年度のデータから見ると、各高校（学科・コース）に、数名程度の変更があるだけで、大きな変更はありません。倍率を見て大げさに騒ぎ、不安になってしまって仕方がないので、これまでの準備を振り返り、強い意志でのぞむことをおすすめします。ただし、担任の先生との話し合いの結果、変更することになった場合は手続きへ向け準備を進めてください。



来週から3月となります！

公立入試へ、いよいよカウントダウン！

時間の経つのは早いもので、いよいよ来週から3月を迎えることとなりました。公立高校入試へのカウントダウンもいよいよ始まり、これからは最後の調整期間となります。今までの努力を支えに、今の力を100%発揮するための準備を進めてください。一発勝負の舞台で、自分の力を100%出し切ることはなかなか難しいことです。しかし、このためにこれまでの努力があったわけですから、最後の最後でいい加減にはならないようにせねばなりません。以下のことに注意していきましょう。

① 体調管理を万全に！ 感染症（新型コロナウイルスやインフルエンザ等）への予防も怠らないようにしよう！

私立入試の際にも書きましたが、大切な舞台に上がる前に何より大切なのは健康です。インフルエンザだけでなく新型コロナウイルスも存在し、全く油断はできません。特に、感染者がいなくなるとついつい油断をしてしまうことがあります。健康な状態で毎日の学習を積み上げていくことが「今」一番大切なことです。規則正しい生活を心がけ、残りわずかな時間を有効に過ごしましょう。

② 身だしなみの準備をしよう！

公立入試では、受検者の人数が少ないので、一人ひとりが見られる機会が多くなります。さらに面接がある学校では私立入試とは比較にならないくらいしっかりと見られます。まずは身だしなみを完璧に整えること。これが大前提です。自分の姿を客観的にみて、直すべきところはすぐに直しましょう。先生からのアドバイスを素直に受け止め、改善することが最善の策です。

③ 実戦問題をくり返し、さまざまな問題への対応力を身につけよう！

「あと数日の時間で何の勉強をすればよいのか？」と悩む人も少なくないのではないでしょうか。しかし、焦ったところでこれからの短い時間で爆発的に成績が伸びることは考えられません。大切なのは、これまで身につけてきた実力を十分に発揮する準備をすることです。もう一度過去問を見直すなど「より実戦的な学習をしっかりとすること」が求められます。

公立高校学力検査まで あと14日！！